

京都産業大学総合生命科学部、鳥インフルエンザ研究センターが獣医学領域及び畜産業界に果たしてきた実績

I. 獣医学に関連する教育及び研究分野における実績

1. 関連研究施設設置

1) 鳥インフルエンザ研究センター設置 (平成18年度)

構成 (現員)・・・専任教員1名、総合生命科学部動物生命医科学科教員兼任4名、  
研究員2名、事務担当1名

2) ミツバチ産業科学研究センター設置 (平成23～28年度)

動物生命医科学科教員兼任として2名参加

2. 国内外獣医学関連機関との共同事業

1) 文科省：新興・再興感染症研究拠点形成プログラム事業 (平成18年度より現在に至る)

「動物由来新興・再興感染症の調査と流行予測に関する研究、特にベトナムにおける  
鳥インフルエンザ侵淫実態調査と流行予測」

研究代表機関：長崎大学熱帯医学研究所

ベトナム対応研究機関：国立衛生疫学研究所

本学対応機関：鳥インフルエンザ研究センター

①ベトナム鳥インフルエンザ研究専門家の京都産業大学への招聘

招聘研究者 フォン・リエン・ソン博士 (ベトナム獣医師会理事長)

レ・ティン・タン研究官 (国立衛生疫学研究所ウイルス研究部)

共同研究題目 ベトナム及び日本での鳥インフルエンザ疫学的解明

期間 2008年3月1日～3月31日

②「動物由来新興・再興感染症の調査と流行予測に関する研究、特にベトナムにおける  
鳥インフルエンザ侵淫実態調査と流行予測」に関するベトナム・日本共同ゼミナール

2013年10月7日 京都産業大学鳥インフルエンザ研究センター

実施機関……国立衛生疫学研究所ウイルス研究部、長崎大学熱帯医学研究所海外教育  
研究拠点、九州大学医学部、鳥取大学農学部附属鳥由来人獣共通感染症  
疫学研究センター、京都産業大学鳥インフルエンザ研究センター

2) 文科省：私立大学戦略的研究基盤形成支援事業 (平成20～24年度)

「新型インフルエンザ対策に係る自然科学及び社会科学融合研究」

研究代表機関：鳥インフルエンザ研究センター

分担研究機関：総合生命科学部生命システム学科・生命資源環境学科・動物生命医  
科学科、理学部数理科学科、法務研究科 本研究プロジェクト参加研究者合計15  
名

3) 文科省：大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム事業 (平成21年度より  
現在に至る)

「獣医・動物医科学系教育コンソーシアムによる社会の安全・安心に貢献する人材の  
育成」

事業代表機関：鳥取大学農学部共同獣医学科 (旧獣医学科)

事業参加機関：岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科 (旧獣医学課程)

京都産業大学総合生命科学部動物生命医科学科

4) 厚労省：新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業

「地球温暖化に伴い変化する感染症に対する早期防御法確立に関する研究」(平成22～27年度)

「病原体及び毒素の管理システムおよび評価に関する総括的な研究」(平成24～26年度)

研究代表機関：国立感染症研究所

本学対応機関：総合生命科学部動物生命医科学科、鳥インフルエンザ研究センター

3. 国内外の獣医学教育研究機関との交流

1) 交流獣医学教育研究機関：鳥取大学(平成19年度より現在に至る)

「鳥インフルエンザ研究を中心とする鳥取大学と京都産業大学の相互連携に関する学術交流協定」

2) 交流獣医学教育研究機関：大阪府立大学(平成19年度より現在に至る)

「動物生命医科学分野と獣医学分野における相互連携に関する学術交流協定(現在に至る)」

3) 交流獣医学教育研究機関：岐阜大学(平成21年度より現在に至る)

「獣医・動物医科学系教育コンソーシアムによる社会の安全・安心に貢献する人材の育成」

4) 日韓国際セミナー「日本・韓国における鳥インフルエンザの発生・予防対応・研究」

2010年12月16日 ホテル京都ガーデンパレス

実施機関……建国大学獣医学部、国立動物衛生検疫院感染症研究部、ソウル国立大学獣医学部、鳥取大学農学部附属鳥由来人獣共通感染症疫学研究センター、京都産業大学鳥インフルエンザ研究センター

5) 日越獣医学教育研究交流打ち合わせ

2014年8月5日 京都大学農学部

参加機関……ベトナムハノイ国立農業大学獣医学部、京都産業大学鳥インフルエンザ研究センター

4. 獣医学及び畜産学における公的機関等との交流

1) 交流獣医学教育研究機関：京都市(平成22年度より現在まで)

「感染症および食の安全対策における京都市と京都産業大学の相互連携に関する学術交流協定」

2) 交流獣医学教育研究機関：京都府(平成24年度より現在まで)

「京都府と京都産業大学の産業振興に係る相互連携に関する協定」

II. 家畜衛生及び畜産振興に関わる地域貢献の実績

1. 産官学での共同研究

1) 農水省 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業(平成24、25年度)

「家畜伝染病のまん延防止のため輸送技術の確立」

代表事業機関：太陽工業株式会社

参加事業機関：京都府農林水産部

京都産業大学鳥インフルエンザ研究センター

2. 国及び自治体の組織する家畜防疫に関する協議会、委員会等委員としての実績

- 1) 鳥取県：鳥取県公衆衛生協会理事会（平成3～19年度）  
平成18年度以降鳥インフルエンザ研究センター
- 2) 農林水産省：食料・農村政策審議会消費・安全分科会家畜衛生部会家きん疾病小委員会  
専門委員（平成14年～平成19年度）  
平成18年度以降鳥インフルエンザ研究センター
- 3) (社) 全国家畜産物衛生指導協会：ウエストナイル感染症等防疫対策事業調査検討委員  
会検討委員（平成16～19年度）  
平成18年度以降鳥インフルエンザ研究センター
- 4) 京都府：高病原性鳥インフルエンザ対策専門家会議委員（平成16～19年度）  
平成18年度以降鳥インフルエンザ研究センター
- 5) 鳥取県：鳥取県衛生環境研究所研究評価者（平成16～20年年度）  
平成18年度以降鳥インフルエンザ研究センター
- 6) 農水省：先端技術を活用した農林水産研究高度化事業研究課題評価分科会評価委員  
（平成17～19年度）  
平成18年度以降鳥インフルエンザ研究センター
- 7) 大阪府：動物由来感染症防疫体制強化検討構想検討委員会（平成18、19年度）  
鳥インフルエンザ研究センター
- 8) 京都府・京都市：新型インフルエンザ対策専門家会議（平成18年度より現在に至る）  
鳥インフルエンザ研究センター
- 9) 京都府：広域防疫対策センターに係る専門家チーム（平成18年度より現在に至る）  
鳥インフルエンザ研究センター
- 10) 兵庫県：家畜保健衛生所整備検討委員会（平成19年度）  
鳥インフルエンザ研究センター
- 11) 大阪府：近畿ブロック病性鑑定ネットワーク協議会（平成22年度より現在に至る）  
総合生命科学部動物生命医科学科、鳥インフルエンザ研究センター
- 12) 京都府：家畜改良増殖審議会（平成23年度より現在に至る）  
総合生命科学部動物生命医科学科、鳥インフルエンザ研究センター
- 13) 兵庫県：関西広域連合 関西広域防災計画策定委員会 鳥インフルエンザ・口蹄疫等対  
策専門部会（平成24年度より現在に至る）  
総合生命科学部動物生命医科学科、鳥インフルエンザ研究センター
- 14) (財) 鳥取県食鳥肉衛生協会：鳥取県食鳥肉衛生協会理事会（平成3年度より現在に至る）  
平成18年度以降鳥インフルエンザ研究センター
- 15) 京都府獣医師会：京都府獣医師会京都支部長（平成25、26年度）  
総合生命科学部動物生命医科学科、ミツバチ産業科学センター
- 16) 京都府獣医師会：京都府獣医師会理事  
総合生命科学部動物生命医科学科、ミツバチ産業科学センター

17) 京都府：京都府蚊媒介性感染症対策連絡会議（平成27年度より）

総合生命科学部動物生命医科学科、鳥インフルエンザ研究センター

3. 他大学、国及び自治体との共同研究

1) 京都市：京都市環境衛生研究所（平成22年度から現在に至る）

「鴨川で越冬する渡り鳥の鳥インフルエンザウイルス保有調査」

「京都市に生息する蚊およびマダニの生態と病原微生物の保有状況の調査」

「京都市と畜場に搬入されるウシおよびブタの節足動物媒介性感染症の感染状況の調査」

総合生命科学部動物生命医科学科、鳥インフルエンザ研究センター

2) 厚労省：国立感染症研究所（平成22年度）

「病原体及び毒素の管理システムおよび評価に関する総括的な研究」

総合生命科学部動物生命医科学科、鳥インフルエンザ研究センター

3) 立命館大学（平成22年度から現在に至る）

「京都市に生息する蚊およびマダニの生態と病原微生物の保有状況の調査」

総合生命科学部動物生命医科学科、鳥インフルエンザ研究センター

4) 順天堂大学（平成22年度から現在に至る）

「新型インフルエンザ等進行感染症対策としての有効な教育介入手法に関する研究」

鳥インフルエンザ研究センター

5) 厚労省：国立感染症研究所（平成24から6年度）

「病原体及び毒素の管理システムおよび評価に関する総括的な研究」

総合生命科学部動物生命医科学科

III. 社会及び産業貢献

1. 講演会

鳥インフルエンザ、糖尿病モデル動物、ハチミツ、ダニ・蚊媒介感染症に関する講演会を  
130件実施

2. 講習会

鳥インフルエンザ診断技術の伝達

関西4県2府に勤務する担当職員（獣医師）に、鳥インフルエンザ研究センターにおいて上記講習会を実施し、技術を伝達した（平成22年度）。

IV. ベトナムにおける鳥インフルエンザ研究成果

1. 論文

Takakuwa, H., Yamashiro, T., Le, Q. M., Phuong, L. S., Ozaki, H., Tsunekuni, R.,  
Usui, T., Ito, H., Yamaguchi, T., Ito, T., Murase, T., Ono, E., Otsuki, K. Possible  
circulation of H5N1 avian influenza viruses in healthy ducks on farms in northern  
Vietnam. *Microbiol. Immunol.*, 54, 58-62, 2010.

他5編

2. 国際シンポジウム講演

Takakuwa, H., T. Yamashiro, T., Le, Mai, Q., Phuong, L. S., Ono, E., Tsunekuni, R., Ito, H., Ozaki, H., Yamaguchi, T., Ito, T., Otsuki K., and Murase, T. : Surveillance of Avian Influenza virus in Vietnam. Asian Research Forum-2008, Osaka (Japan), 18-19. 1. 2008.

他 20 編

V. 特記事項

松本耕三教授 日本実験動物学会 安東・田嶋賞受賞 2009年5月

ラットの先駆的遺伝子マーカー開発と疾患モデルラットの遺伝子解析研究

(糖尿病モデルラットの世界に先駆けた作出)